

インフラサーブ工業団地の消防隊によるバイオディーゼル事故処理の報告書

アンドリース・ルベート

インフラサーブ消防隊長

ヴィースバーデン市

フランクフルト市の南西 40 kmにあるヴィースバーデン市のビーブリッチャー通りに面した工業団地の入口付近で、2007年2月16日の午後5時頃、一台のトラックが作業交代中に燃料タンクが破損し、約500リットルのバイオディーゼルが流れだし、アスファルトの路面約40 m²に広がってしまった。

トラック運転手は、すぐに112(日本の119)に救援を求めた。通報を受けたヴィースバーデン市消防隊は、到着後に事故発生現場が管轄内であるインフラサーブ工業団地の消防隊にも通報し、協働で事故処理を展開した。

市の消防隊は、オイル事故処理方法に従って公共交通エリアに珪藻土¹をベースとしたオイル吸収材を散布した。しかし、粘着性の高いバイオディーゼルは、十分には吸収されなかった。

Leaked Bio-Diesel February, 16th 2007



"The greasy Bio-Diesel was poorly binded"

<http://www.wiesbaden112.de/fotos.htm>

漏れ広がったバイオディーゼルが、工業団地入口付近にあったくぼみにも流れたため、市の消防隊は、くみ取って缶に入れたりしたが、全体的に散布したオイル吸収材の効果はあまり良くなかった。そこで、インフラサブ消防隊の指揮者が、Kalle 社の新製品である「フルーソープ」オイル吸収材を試すことにした。

結果は、驚くほど素晴らしかった！！

アスファルト路面上のバイオディーゼルの「フルーソープ」をかけ、約5分経過したところから効果が見え始め、さらに「フルーソープ」をかけると短時間のうちにバイオディーゼルは、吸収されてしまったのだ。さらに驚異的な吸収力のために路面のアフターケアも必要がなかった。

さらにこの「フルーソープ」は、吸収力だけではなく廃棄物処分にも効果あることが分かった。生物分解可能燃料が入っているため、堆肥結合剤より廃棄コストを削減することができる。なぜなら「フルーソープ」は、天然資源から生成され、綿繊維で補強されたセルロースから構成されているからである。

けいそうど

注¹: 「珪藻土」珪藻 (藻類は陸上植物を除いた光合成を行う全ての生物) の化石からなる岩石が珪藻土である。

水分油分を大量に保持する。七輪は珪藻土を層切削整形し焼結して製作する。

出典: [WFV-INFO III/2008] 工業団地消防隊によるオイル吸収材の実験

翻訳: XIA株式会社



"How the fuel tank did leak is not sure yet"

<http://www.wiesbaden112.de/fotos.htm>

Fotos by courtesy of:
Michael Ehresmann, Editorial Board of the webpage: Wiesbaden 112 – Das Feuerwehrportal
www.wiesbaden112.de redaktion@wiesbaden112.de